

2019年度

「首都大学東京グローバル・コミュニケーション・キャンプ」

日韓の農山村地域デザインワークショップ

「首都大学東京グローバル・コミュニケーション・キャンプ」は、多様な人材と協働しながら課題解決に取り組むことができる人材の育成を目的として実施される本学の学生の国際交流を促進するプログラムを対象とした経済支援制度です。



■目的

本プログラムは、日韓両国に共通する、農山村地域の過疎化の現状と課題を理解し、協働して取り組むデザインワークショップを通して課題解決に向けた方策を探ることを目的とします。

■内容

- 1) 日韓の農山村地域の現状分析(日本国内の文献調査, 先行事例調査を行う)
- 2) 韓国の農山村地域を対象としたコンペ資料分析(韓京大学校提供)設計提案を作成。
- 3) 韓国の農山村地域の現状を視察する。
- 4) 韓京大学校でデザインワークショップを行う。
- 5) 韓国の有名建築の見学

※設計提案・WSの発表は英語で行います。

■対象(募集定員:15名)

建築都市コース学部4年生, 建築学域修士1年

■経済支援

旅費(航空賃・鉄道賃・宿泊料)を支給します。

■説明会:6月13日(木)17時

会場:9号館2階 建築会議室(9-226)

※参加希望者は必ず出席して下さい。

応募者多数の場合、選考があります。

■スケジュール

日程	韓国	日本
4月初旬		プログラム概要配布開始
6月中旬	農村建築コンペ(韓国)の公告	プログラム説明会 コンペ公告内容の翻訳版を配布 日本の農山村地域事例検討
6月20日頃	[夏休み] 敷地見学及び設計スタート	敷地の写真などの情報配布
7月20日頃	[農村コンペ] 1次提出(A3版2枚)	(設計作業)
8月19日頃	[農村コンペ] 2次提出(800×5003枚)	(設計作業)
8月20日 ~23日 (予定)	1日目:韓国到着及び移動/日本チームの敷地見学(公告内容により変更可能) 2日目:設計作業及び出力/設計プレゼンテーション及び購買会/懇談会 3日目:韓国の有名建築の見学会 4日目:移動及び出国	
8月下旬	[農村コンペ] 3次プレゼン/最終発表	
9月初旬		受賞作品報告

■担当教員

建築学域・教授 竹宮健司

建築学域・教授 吉川 徹

■問い合わせ先

竹宮健司(内線4778)

takemiya-kenji@tmu.ac.jp